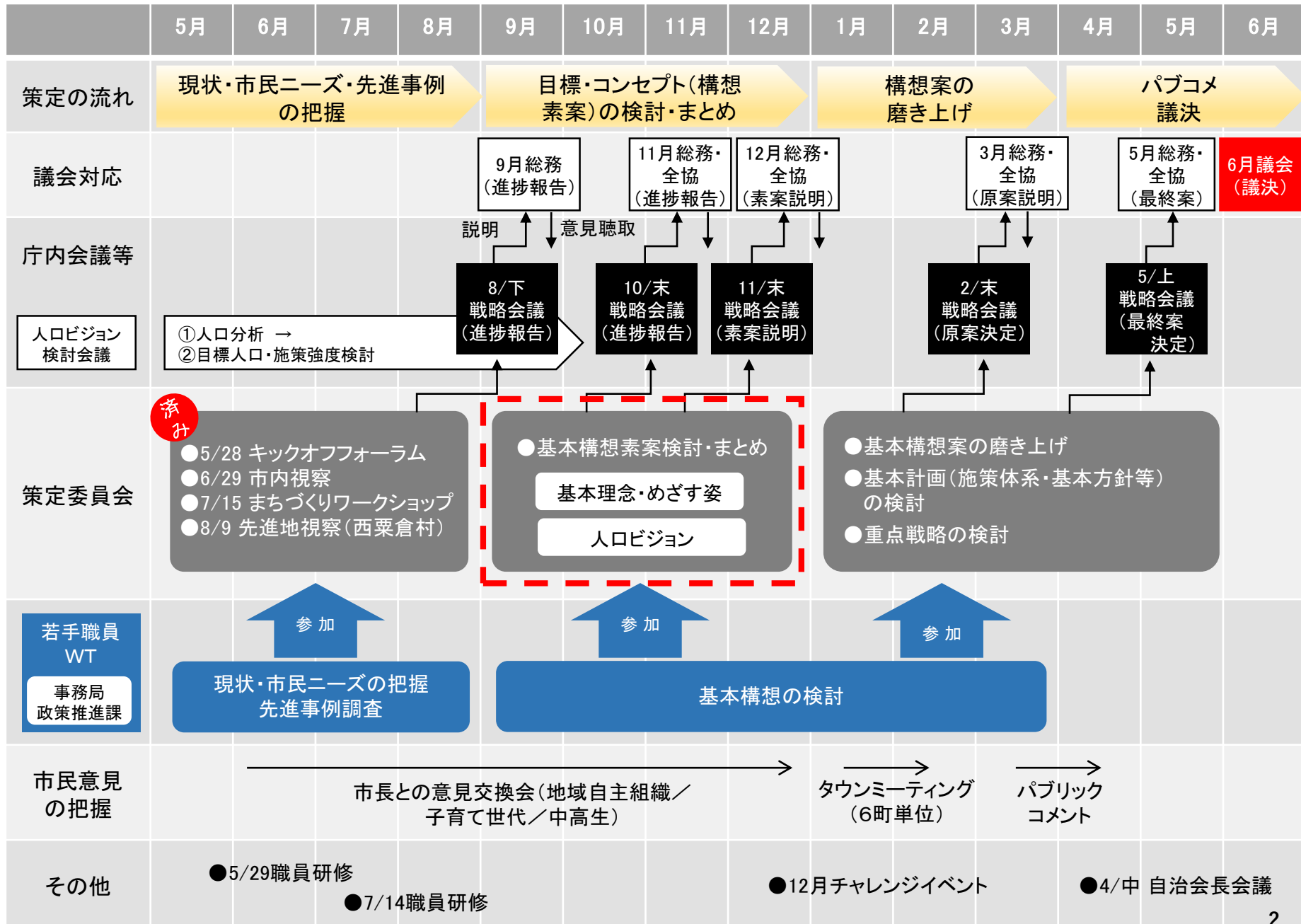








第3次雲南市総合計画・基本構想 中間報告

2023年10月21日

1. 第3次総合計画（基本構想）策定の流れ・スケジュール



日時		内容	詳細
第1回	5/28(日)	キックオフフォーラム (龍谷大学 深尾副学長) 	・これまで(人口増→成長型社会)とこれから(人口減→定常型社会)は違う ・幸せのかたち、価値観の変化(働き方・暮らし方・教育のあり方が変わってくる) ・豊かな環境、資源の活用(農業など一次産業・エネルギーの地域循環)
第2回	6/29(木)	現状把握／市内視察 	・市政の現状把握 ・まちづくり(チャレンジ)の現場を見る
第3回	7/15(土)	まちづくりワークショップ (CPB 倉成英俊氏) 	・アイデア出しワークショップ「雲南市はこれからどんな市になるの？」 (キーワード、キャッチフレーズの素材集め)
第4回	8/9(水) - 10(木)	先進地視察(西栗倉村) ワークショップ① 	・先進事例を学ぶ(資源活用による仕事創出、脱炭素・デジタル化、官民連携、 人材誘致など) ・視察を踏まえて、「雲南でつくりたい未来」を考えてみる
第5回	9/1(金)	基本構想の検討 ワークショップ② 	・人口ビジョン(目標人口)の考え方 ・基本構想についての意見だし
第6回	10/13(金)	基本構想の検討 ワークショップ③ 	これまでの議論をまとめた“たたき台”をさらに深掘りする
第7回	10/21(土)	まちづくりワークショップ	基本構想の“たたき台”を市民へ共有し、意見をいただく
第8回	11/17(金)	基本構想素案のまとめ	基本構想の素案のまとめ
		【12月議会へ素案提出・説明】	
	1/中～下	タウンミーティング	6町単位で、基本構想(素案)を説明し、意見をいただく
第9回	1/19(金)	基本構想原案の磨き上げ	
第10回	2/15(木)	基本構想原案の磨き上げ	
		【3月議会へ原案提出・説明】	
	3/下～4/中	パブリックコメント	市民周知イベント(トークセッション)の開催
		【6月議会にて議決】	

2. 基礎調査

2-1. みんなでつくろう！雲南の“ミライチズ”

日時：2023年5月28日 13時～15時半

場所：雲南市役所 5階 会議室

参加者：91人

講師：龍谷大学 副学長 深尾 昌峰氏

モデレーター：

雲南市地方創生アドバイザー 山元 圭太氏

コメンテーター：

龍谷大学 副学長 深尾 昌峰氏

スピーカー：

雲南市長 石飛 厚志

新市いきいき会 会長 小林 和彦氏

(公財)うなんコミュニティ財団 事務局長 石原 尚美氏

地域活性化起業人 梅澤 宏徳氏

プログラム：

13:00- オープニング

13:10- 基調講演

14:00- トークセッション

15:30- クロージング



【基調講演】

- これまでの社会は人口増を前提につくられたもの。これからは人口が減少し、これまで通りの構造や制度ではうまくいかないモデルなき時代。
- AIやコロナの影響により、幸せのかたち・価値観が大きく変化。地域の経営の仕方、市役所のあり方、人の生き方を考えなおしていくタイミング。
- これからの社会は目指したい未来を描くことが重要。総合計画もバックカスティングで未来を基軸に作る事が重要。
- 変人は最大の誉め言葉。「多様性」「多元性」の言い換えであり、変なことを考える人がいないと変わらない。
- 総合計画策定は、雲南モデルのミライチズを作るチャンス。

【トークセッション】

- 政策をつくるプロセスを市民と住民、議会とのパートナーシップをデザインする機会に。
- 地域自主組織で、ずっとやってきたことがコロナでできない状態が3年続いた。元に戻すのではなく、次の取組みを考える必要。
- これまでの考え方にこだわっていると見えなくなるものもあり、いかにアンラウン的な発想をするかも重要。
- チャレンジも古くなってきた。チャレンジとは違う視点も重要。
- プランを作ることが目的化する「P病」にならないように。

2. 基礎調査

2 - 2. 市内視察

日時：2023年6月29日 9時～17時

参加者：策定委員14名、若手W10名、事務局3名、委託先2名

訪問場所：

①まちのワーキングスペース「オトナリ」

- ・NPO法人おっちラボ 代表 小俣健三郎氏
- ・一般社団法人エンター 代表 杉村卓哉氏
- ・(株)必ず楽しい 代表取締役 高橋朋恵氏
- ・(公財)うなんコミュニティ財団 木村和子氏

②みんなのお家（ラーニングセンター）

③KANUKA PARK

④おんせんキャンパス

⑤波多交流センター



【感想・意見】

- ・ 様々な分野の人が地域づくりに関わっている事がよくわかった。同年代の人たちに自分ごとだと思って欲しい。自分から拾いにかなくても情報が入るといい。
- ・ 地元の人ほど地元を知らない。
- ・ 雲南市を良くしたいとか雲南でチャレンジしたいという方々がたくさんおられることを知ることができた
- ・ 市内で様々な事業をされている方々（自主組織含む）が、全員のびのびと生き活きと活動されているのが印象に残った。そうした人々の力が100%発揮できる基盤になりうる計画であるべき。
- ・ 雲南市はチャレンジに理解があって良いと沢山言われたが、中にいるとあまり感じられないのでおどろいた。
- ・ 総合計画を見てやる気になるようなことが盛り込めるとよい。
- ・ 一市民として自分達のライフプランや将来像を考えることが総合計画につながると感じた。
- ・ チャレンジを受け入れてもらえる基盤づくりも大切だが、今ある良さのブランド化も大切。
- ・ まずは自分の周りの人に総合計画を知らせることが重要。
- ・ 心豊かな子どもを地域一体となって育てていく環境づくりが必要。
- ・ 波多地区のように身の丈に合ったことを、とにかくにやってみようという姿勢はとても大切。

2. 基礎調査

2-3. まちづくりワークショップ

日時：2023年7月15日 13時半～16時半

場所：雲南市役所 5階 会議室

参加者：45人

講師：倉成英俊氏（Creative Project Base代表）

プログラム：

- ①自己紹介（10文字）
- ②雲南市ってどんなまち？（10文字）
- ③雲南市はこれからどんな市になる？（一単語で）
- ④ // （英単語で）
- ⑤ // （出雲弁で）
- ⑥ // （10文字以内で）

※スマートフォンで回答、Slidoを使ってリアルタイムに共有し、意見交換を行った。



【意見等】

・雲南市はこれからどんな市になる？（1単語）

地域自給 変人 互助 チャレンジ ブレーキ ワクワ
ク 多様性 思いやり 静穏 おんぼら 八百万 挑戦
気楽 自然回帰 小規模多機能 育む

・雲南市はこれからどんな市になる？（英単語）

Well-being hope slow chaos Galapagos
relaxation リスペクト オープン Challenge person
コンサマトリー（自己充足、非道具的） sleep

・雲南市はこれからどんな市になる？（出雲弁）

たばこすーだわね えすこに いけずご てご やらこ
い！ よおきてごさいしたなあ てごしてごいた ちーとわて
じねんに いえすこ がっしょ ばんじまして ほんそご
だんだん おっちら おんぼら まめなかね まげなこと
やらこい すいちよる がっしょで ぼつぼつ わけもん
ええす なんだいかなだい せつくない ごもしん

・雲南市はこれからどんな市になる？（10文字以内）

挑戦二割たばこ八割 なんか、えすこに がっしょでえすこ 羨ま
しがられる市 安心な食の街、雲南 日本の原風景が残る街 変わり
変わらない街 미래のふるさと おいでよ変人の森 みんなで
つくる村社会 ほか多数

2. 基礎調査

2 - 4. 先進事例調査

日時：2023年8月9日 13時半～16時半

場所：あわくら会館（西粟倉村役場）、地域熱センター、（一社）西粟倉むらまると研究所

対応：上山隆浩氏（西粟倉村地方創生特任参事）

参加：策定委員12名、若手W8名、事務局3名、委託先2名

行程：

- ①西粟倉村役場
- ②ちぐさ研究室
- ③西粟倉百年の森林でんき（株）
- ④（一社）Nest
- ⑤（一社）西粟倉むらまると研究所



【感想・意見】

- 計画ごとにKPIが設定され、バラバラになることがあるが、ビジョン（総合計画）を中心に据えることでKPIを一つにすることができる。
- ビジョンを立てただけでは共感・共有は生まれない。達成するための「シンボルプロジェクト」を定め、実行することにより、できていること・できないことが可視化され、支援者が見つけやすくなる。
- 森林を地域資源と位置付け、林業に価値をつけ、地域内の経済循環を進め、村全体への波及効果を狙う取り組みを進めている。
- 個人で管理できない私有財産を地域の社会的共有財産（公共財）として村が管理することで、森林資源の価値最大化に地域全体で取り組むことを可能にしている。
- まちづくりに当たっては専門性をもった民間企業の力を積極的に活用し、連携して取り組むことが重要。
- 時代のトレンドを捉え（ローカルベンチャー、脱炭素など）、スピード感をもってチャレンジしていくことが重要。
- 地域内の経済循環を生み出すことを大切にしている。行政には地域全体で多くのお金が回る方法を考え、必要な事業に投資する姿勢が求められる。
- 地方創生、脱炭素など、時代の流れがあり、集中的に国のお金が投下される。次の流れを読むことが重要。

2. 基礎調査

2 - 5. 振り返りワークショップ

日時：2023年8月10日 9時半～11時半

場所：雲南市役所5階会議室

参加：策定委員12名、若手W8名、事務局3名、委託先2名

プログラム：

1. みんなでつくる雲南のミライチズ（7月15日）振り返り
2. 西粟倉村事例調査の振り返り
3. 地域ビジョン・シンボルプロジェクトの案だし



【地域ビジョン】

- えすこにつなぐ。みんなが主役。メリットのある暮らし。
- 物心両面で自分自身が楽しめる。担い手が減っても楽しめる。
- 丁寧に次世代につなぐ。えすこにつなぐ。
- 楽しいはつながる。楽しいところに人・もの・コトが集まる。
- 総働。
- みんなえすこにウェルビーイング。自分、人間以外を考えた持続性を追求する。
- 共に生きる。心と体が動く。のんびり、せかせかしない。

【シンボルプロジェクト】

- 子どもに受け渡せる状況をつくる。各分野で大人たちがカッコいい姿を子どもたちに見せ、その人の魂や哲学を受け継ぐ「人づくりプロジェクト」
- 自然の恵みを再確認・認識するプロジェクト。森林・田畑を公財に変え、自給力を上げる。地球があり、生物があり、人間があるというバランスを大切にする。
- お金の流れを全体でバランスするプロジェクト。新しいお金の流れ研究所。地域自給プロジェクト。食・エネルギー・人材。
- 自治の産業化プロジェクト。自主組織による地域自治の仕組みを可視化し、市外へ移出（販売）する。

2 - 6. これまでの総括



キックオフフォーラム（龍谷大学 深尾副学長）

これまで（人口増を前提とする社会）と、これから（人口減少社会）は違う
幸せのかたち、価値観の変化（働き方・暮らし方・教育のあり方の変化）
豊かな環境、資源がある雲南にはチャンス！

市民協働の深化（市民との対話プロセスのデザイン、関係人口の拡大）



総合計画策定委員会でのご意見

挑戦より、みんなで、楽しみながら、幸せに、えすこ（いい具合に）というマインド
市全体で共有できるシンプルでわかりやすいビジョンを
教育、経済循環、自治、自給、総働、生物多様性などがキーワード



市議会でのご意見

人口減少が進む中では、行政施策の効率化（合理的な見直し）も必要

地域の人権対策、周辺部対策は道路や除雪など身近な生活課題への対応が重要

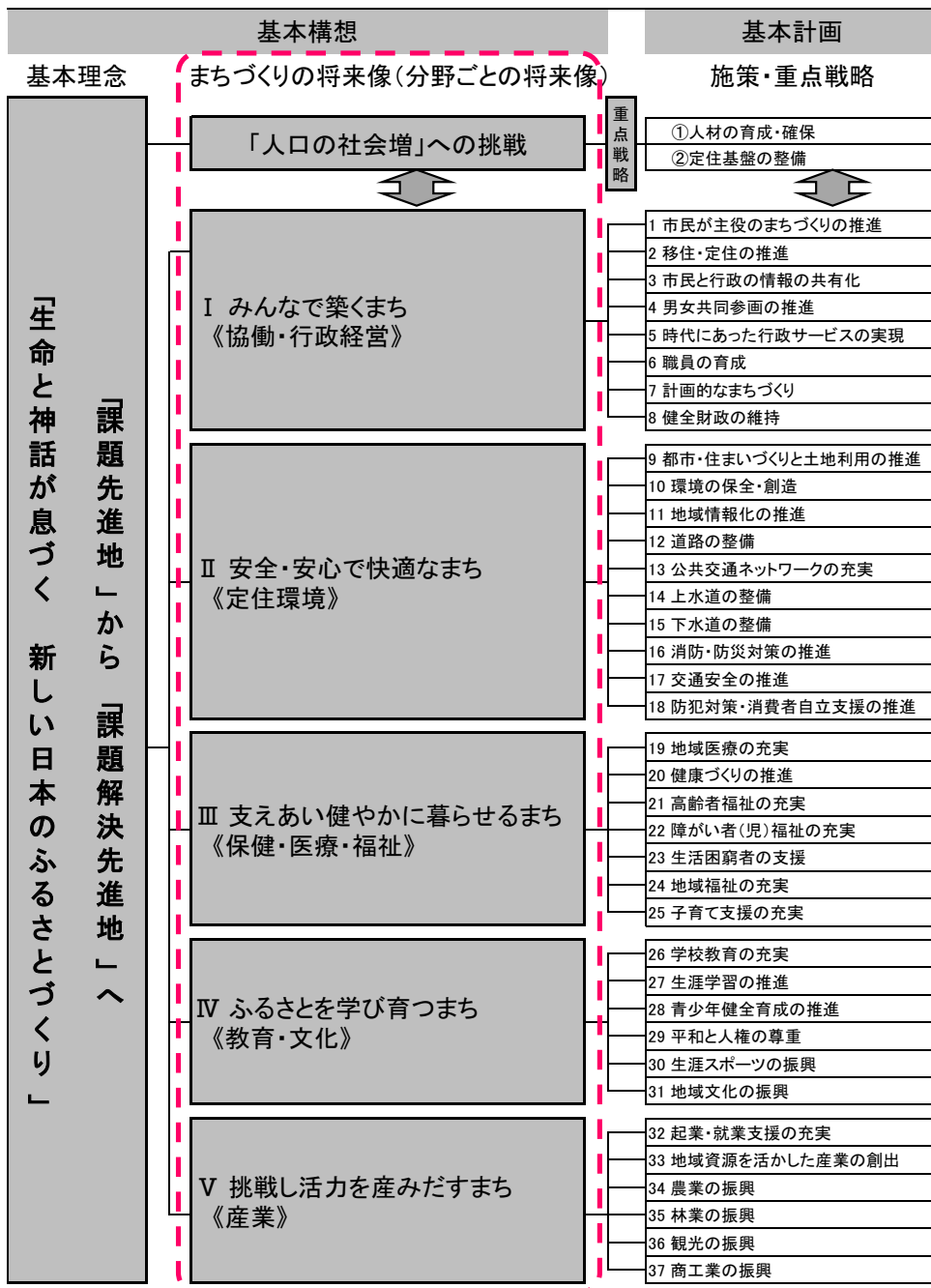
3 - 1. 基本構想の構成

計画の構成

基本構想、基本計画、実施計画について、現行計画の位置づけを踏まえ、以下のように整理する。

区分	内容	期間	方針（案）	項目（案）
基本構想	雲南市の将来の目標及び目的達成のために必要な施策大綱を示し、まちづくりの基本指針を明らかにするもの。	10年	<p>市民が手に取り、読みたくなるもの。</p> <p>自分ごととして雲南市の将来を考えたり、行動するきっかけとなるもの。</p> <p>これまでの歩みを大切にし、新しい未来の創造を促すもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市のこれまでとこれから ● 基本理念・目指す姿 ● 人口ビジョン ● 土地利用ビジョン ● 基本目標（分野ごとの将来像）
基本計画	基本構想で定めた雲南市の将来像を達成するために必要な施策・事業の基本的な考え方を示すもの。	5年	<p>施策の目的・目指す状態を市民の実感値として言語化。</p> <p>上記の実現に向けた行政として取り組む挑戦と目標値を言語化。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 施策の目的 ● 市の挑戦 ● 施策目標 ● 基本事業
実施計画	基本計画で定めた施策を行財政の状況を踏まえてどのように実施していくかを定める年次計画。	1年	<p>政策評価、予算要求等に必要最低限の情報で構成。</p> <p>庁内での情報共有がスムーズに進むよう配慮。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 施策の目的 ● 事業内容 ● 事業目標 ● 事業費 ● 担当部署

3. 基本構想の検討



見直し (案)

①まちづくりの将来像を全体で描く

- ・ これまでは5分野ごとに将来像があり、まちづくり全体の将来像(10年後の姿)が見えづらい。
- ・ 基本構想がめざす将来像を一本化して全体で描くことで、市民にわかりやすく伝えることができる。
- ・ 将来像は、図式化(イラスト化)するなど、わかりやすいデザインを用いる。

②分野ごとに基本目標を定める

- ・ めざす将来像の下に、これを実現するための分野ごとの基本目標を設定する。
- ・ さらに、基本目標を達成するための施策を、基本計画の中に設ける。

見直しの意図

- ・ 行政計画から市民計画へ
 これまでの行政計画として性格を改め、市民とともにまちづくりを進めていくための計画とする。
- ・ ビジョン(めざす姿)の共有を重視
 そのためにも、10年後のめざす姿をわかりやすく示すことを重視する。

3 - 2. 基本理念の検討

雲南市のこれから

みんなで、えすこに。

一緒に笑顔でやらい

なんか、えすこに

みんなで作る村社会

がっしょでえすこ

お互いさま精神な町。

出逢いが連鎖する場所

挑戦や応援を大切にする

挑戦二割たばこ八割

挑み学び続ける町

チャレンジとてごの町

今日の次を目指すまち

変わり変わらない街。

価値を作り伝える

てごをしますあなたのために

する場所

てばなしてつなげる

子どもが夢見る街

安心、安全、楽しく暮らせる

ゆったり、優しい街

安心な食の街、雲南

安心して寝られるまち

ハハハと笑える街

みんなきらきら雲南市

湿度と笑顔が溢れる町

子どもがお辞儀する町

皆で終活楽しむ街

原風景が残る

やまたのおろち♡

八百万のふるさと

おっちらと広がるまち

無限の雲が彩る街

原風景を感じるまち

日本の原風景が残る街

いつまでも田舎街

☺□

憧れられる

せかいのうなん

雲南市ってどこ？って

のびしろのまち

隣まちが憧れるまち

羨ましがられる市

個人や多様性が尊重される

変人育成と受容

オープンシティー

おいでよ 変人の森

だれもが大切にされ王様の多彩な原っぱ

新しいふるさと

あたらしいふるさと

みらいのふるさと

きぼうのふるさと

みんなのふるさと人口減ならペット推し

生き返った田舎

循環するまち

シンプルイズベスト

3. 基本構想の検討

3-3. 将来像（10年後のめざす姿）の検討

目指す姿（アイデア）

移住者から住んで良かった
と感じられるまち
住みたいと思われるまち

雲南から全国の好きな企業で働ける

雲南から（いながら）世界で
活躍する人材がいる

住む家
毎日変えられる

世界を変える
世界が求める
世界最先端のビジネスがある

まちの資源共同管理会社
（空き家、耕作放棄地…）

都会の人が暮らして元気な
なって帰っていくまち

終活地

全市民兼業

ドッグラン天国

くらしが良くなっている実感
・医療
・教育
・インフラ
・福祉
→みえる化

雲南にいたら、
好きなこと
社会貢献
が、お金になるよね～

日本一教育の選択肢が
多い田舎
（社会教育日本一）

留学生、留学に行く人来る人日本一

エネルギーや食の
地産地消

完全自給自足
（エネルギーも！）

多くの人が自分ごとに
できるフレーズで

友だち100人できるまち

社会課題解決中の今が
可視化されている

暮らしがよくなっている具合が
データで可視化されて

・経済的な豊かさと
・心の豊かさの両立

・子供が笑顔で行きかう
まち（あいさつできる）
・となり近所が声をかけ
あうまち（つながり）

課題解決中、活動につながっている
人の割合がヒートマップでいつでも
見れる状態になっている

1つのチャレンジを10年は見
守るのがあたりまえ

全市民投資家

つながり→笑顔（しあわせ）
あふれている状態

3-4. 基本構想のキーワード

【将来像キーワード】

えすこに／豊かさ／地域（自治）

【解説】

えすこに：多様性を尊重し、自然や次の世代にとっても良い状態。

豊かさ：先人から引き継いだ多くの恵みとともに、物心ともに満たされている暮らしがある状態。

地域（自治）：暮らしの舞台である地域やコミュニティが元気な状態。

【基本理念キーワード】

つながり／チャレンジ

【解説】

人と人とのつながり、人と自然とのつながり（食、エネルギー）、過去から現在へのつながり（神話、たたら文化）、現在から次の世代へのつながり（教育、サステナビリティ）、外とのつながり（人材還流）、つながっている安心感・・・などを大切にすると同時に、変えるべきものを勇気をもって変える挑戦（チャレンジ）を大切にする。